



東京都正札シール印刷協同組合  
青年部長 清水 貴久

新年あけましておめでとうございます。平素より当青年部の活動に対し格別のご支援・ご協力を賜り改めて厚く御礼申し上げます。

昨年は全国各地で地震や台風などの自然災害の脅威にさらされる一年となりました。また経済面でも景気は緩やかな回復基調とはされていますが、欧米の政治動向の不確実性、近隣諸国情勢の緊迫化などの地政学リスクが高まる等、先行きは依然として不透明な状況にあります。

私は、昨年4月の青年部の総会におきまして有限会社カムシーリングの城篤史氏から青年部長を引き継ぎました。城氏は2期4年という長きにわたり青年部長を務めあげ、2017年には担当協組となった年次大会において、企画・設営にあたり正札青年部をまとめ上げ、全国青年部の仲間でも盛り上がったイベントを大成功に収めました。そんな前部長の後任ということで正直なところプレッシャーは感じておりますが、自分が20年以上青年部に所属して経験したこと、また諸先輩方に教わった知識などを基に、自分なりに出来ることを考え、青年部員と共に成長できるよう行動していきたいと思っています。

今年度、当正札青年部では「発見、再発見」をテーマに掲げました。2020年には東京オリンピック・パラリンピックが開催されますが、未来に向かって進化や成長を続けていく技術や知識を「発見」していくこと、また42年という歴史を持つ正札青年部の活動の中で見落とししたり埋もれてしまっていたものを「再発見」することで部員それぞれが成長していき、またお互いが成長できたという感動を共有できる場が正札青年部であると信じています。

正札青年部では毎月の担当幹事を割り振り、勉強会や見学会などを開いています。幹事が責任を持って自分自身が興味のあること、学びたい内容を企画することで、より個性の強い実のある会が開けています。またフェイスブックなどのSNSで青年部の活動を広報することにより、私たちの事を良く知ってもらう機会が増えてきていると思います。実際に少しずつではありますが部員の増加と、現部員のご子息が定例会に参加されるようになったことで、青年部にも新たな風邪が吹きはじめたのかなと感じています。

今後も青年部内の活動だけでなく、他青年部との連携や印青連での活動、他業種との交流なども一層積極的に活動していきます。

最後になりますが、皆様のますますのご発展とご健勝を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。